

礼 拝 説 教 要 旨

2010年6月13日

赤江弘之牧師

『主の弟子の忍耐と栄光』

II テモテ2：1～13

はじめに

1. 教える力のある人々 2節

東京キリスト教学園と西大寺キリスト教会

2. ゆだねる務めと教会の使命 2節

・教会は学校である

旧約「民を、男も、女も、子どもも、あなたの町囲みの中にいる在留異国人も、集めなさい。彼らがこれを聞いて学び、あなたがたの神、主を恐れ、このみおしえのすべてのことばを守り行うためである。」申命記31：12

新約「彼らはその町で福音を宣べ、多くの人を弟子としてから、ルステラとイコニオムとアンテオケとに引き返して、弟子たちの心を強め、この信仰にしっかりとどまるように勧め、「私たちが神の国に入るには、多くの苦しみを経なければならない」と言った。また、彼らのために教会ごとに長老たちを選び、断食をして祈って後、彼らをその信じていた主にゆだねた。」使徒14：21～23

・使徒たちの模範

・牧師の任務

「こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためにあり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身だけにまで達するためです。」エペソ4：11～13

3. 忠実な人たち 3節

・兵士、運動選手、農夫のたとえ 4節、5節

・死に至るまで主を信頼する 11～13節

・弟子となるための条件と心得 ルカ14：25～27

「さて、大ぜいの群衆が、イエスといっしょに歩いていたが、イエスは彼らのほうに向いて言われた。『わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、そのうえ自分のいのちまでも憎まない者は、わたしの弟子になることができません。自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。』」

むすび